

厚生労働省が 「大学生のための 『キャリア教育プログラム集』」 を開発、公表

厚生労働省では、キャリア教育プログラムの導入や拡充を図ろうとする大学等のために、職業情報やキャリア・コンサルティングのツールやノウハウなどを活かしたキャリア教育のためのプログラムを開発し、公表した（平成26年度「キャリア教育プログラム開発事業」）。

開発されたのは、プログラム集のほか、付随するワークシート、インタビュー集、各大学の事例集。各大学の状況に応じて、アレンジして使うこともできる。いずれも下記の厚生労働省のホームページからダウンロードが可能。

大学生のための 「キャリア教育プログラム集」

主として大学生を対象に、大学でキャリア教育を行う指導者用に作成したプログラム。「職業興味・理論と解釈」「職業レディネス・テストを使った自己理解」「職業の中の仕事を探す（課業分析を通じて）」「キャリア・シミュレーション（失業や長時間労働などの困難への対処シミュレーション）」など、計34本のプログラムが用意されている（図表1）。

1プログラム当たりの所要時間が90分を目安に作成されており、大学の授業1コマで講座を設定しやすくなっている。プログラムの組み合わせは自由

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/shokugyounouryoku/career_formation/career_consulting/career_kyouiku_programs/index.html



図表1

A. 自己理解(12本)

テーマ
職業興味と自己理解1 (理論と解釈)
職業興味と自己理解2 (職業レディネス・テストの実施)
職業興味と自己理解3 (職業レディネス・テストの結果を使ったグループワーク)
VRTカードを使った自己理解1(興味)
VRTカードを使った自己理解2(自信)
VRTカードを使った自己理解3 (結果を使った分析)
OHBYカードを使った自己理解の深化1 (OHBYカードの実施)
OHBYカードを使った自己理解の深化2 (OHBYカード実施後の発表)
働くための能力、興味、価値観を知る (キャリア・インサイト1)
働く時の行動特性や性格・傾向を知る (キャリア・インサイト2)
職業への興味や能力から適職を探す (キャリア・インサイト3)
将来のキャリア・プランを考える (キャリア・インサイト4)

B. 職業理解(11本)

テーマ
職業の中の仕事を探す(課業分析を通じて)
職業(アルバイト等)の職務分析
職業インタビュー
職業の世界を知る (ハローワーク・インターネットサービスの活用1)
職業調べ (ハローワーク・インターネットサービスの活用2)
様々な働き方について学ぶ (TOKYOはたらくネット・ポケット労働法)
資格・免許について学ぶ(資格サイトの活用)
社会人インタビュー情報から学ぶ1
社会人インタビュー情報から学ぶ2
社会人インタビュー情報から学ぶ3
社会人インタビュー

C. その他(11本)

(労働市場、労働法、ワークルールほか)

テーマ
ディスクジョッキーへの悩み相談 (事例を使った課題解決)
学生相談ケーススタディ
就労相談ケーススタディ
職業生活での様々な問題を考える (キャリアシミュレーション・プログラム)
労働問題アドバイザーになろう (アルバイト)
労働問題アドバイザーになろう (就職問題)
ワーク・ルールについて学ぶ (TOKYOはたらくネット・ポケット労働法)
就職率、離職率や労働市場について学ぶ
就職のための求人情報と応募書類について知る
学生用ジョブ・カードについて知る
職業訓練について学ぶ

